

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後にあることを明らかにする

○置き換え

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

○比較

- ・ 多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異を明確にする

○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学3年 **基礎力テスト (国・算)** —— 解答と解説

算数

(国語と算数あわせて40分)

1

(1)	836	(2)	299	(3)	134
		21	22		23

(4)	56	(5)	6	(6)	2 m 8 cm
		24	25		26

2

(1)	12	円	(2)	ア → エ → イ → ウ	
			27		28
(3)	4	れつ	(4)	①	4
			29		30
			②	10	人
					31
(5)	①	午前	10	時	15
			32		33
分	②	午前	9	時	25
					34
(6)	44		cm		

3

(1)		(2)	3	通り
		36		

4

(1)	𐤑 7	𐤓 17	(2)	𐤑 15	𐤓 11	(3)	2 人
	37	38		39	40		41

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問一 あ	問二 イ	問五 金	問八 ウ
42	47	50	53
い	問三 ウ	問六 ウ	問九 エ
43	48	51	54
う	問四 びんぼう	問七 A 金の窓 B 家	
44	49	52 (完答)	
星			
45			
お			
食			
46			

（配点）

算数

① 各 2 点 × 6 = 12 点

② (1)~(5)各 2 点 × 7 = 14 点 (6) 3 点

③ 各 4 点 × 2 = 8 点

④ (1)(2)ア 各 2 点 × 3 = 6 点 (2)イ 3 点 (3) 4 点

国語

問一 各 2 点 × 5 = 10 点

他 各 5 点 × 8 = 40 点

計 100 点

【解 説】

② いろいろな文章題

(1) A1 再現する

代金は、 $64 + 24 = 88$ (円) おつりは、 $100 - 88 = 12$ (円)

(2) A1 知識

1 dL = 100mL、1 L = 10dL なので、 $2\text{ L} = 20\text{ dL}$ 、 $500\text{ mL} = 5\text{ dL}$

ア～エをdLで表すと、ア：4 dL イ：2 L = 20dL ウ：30dL エ：500mL = 5 dLとなります。

よって、かさの小さいじゅんに、ア→エ→イ→ウ

(3) A1 再現する

おだんごの数 = $2 \times 6 = 12$ (こ) $12 = 3 \times 4$ より、4 (れつ)

(4) ① A1 情報を獲得する

表とグラフから○1こは1人なので パンダのグラフは○4こなので、ア = 4

② A2 情報を獲得する 再現する

1人は○1こなので、人数が10倍ばいになって○の数と同じなら、○1この人数も10倍の10人になります。

(5) ① A1 情報を獲得する 再現する

(午前10時20分) - (5分) = 午前10 (時) 15 (分)

② A1 情報を獲得する 再現する

(午前10時15分) - (50分) = 午前9 (時) 25 (分)

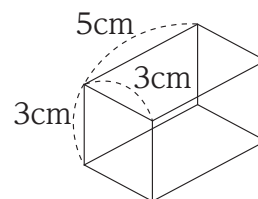
(6) できる箱は、右の図のようになり、^{はこ}辺の長さは、

たて5 cm、よこ3 cm、高さ3 cmです。

辺はそれぞれ4本ずつなので、 $5 \times 4 = 20$ (cm)、

$3 \times 4 = 12$ (cm)、 $3 \times 4 = 12$ (cm) をたして、

$20 + 12 + 12 = 44$ (cm)



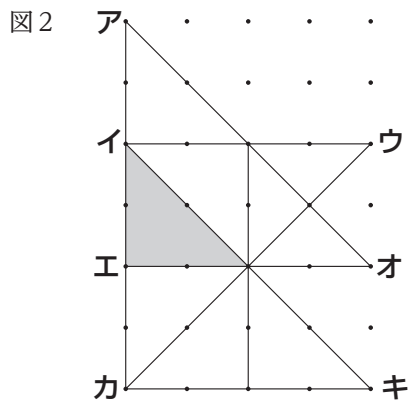
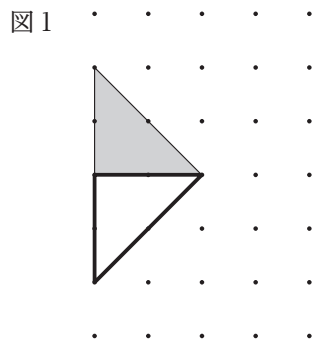
③ 正方形・直角三角形

- (1) ① **A1** 特徴的な部分に注目する 調べる

下の図1のようになります。

- ② **A2** 特徴的な部分に注目する 調べる

下の図2のように、三角形アエオ、三角形イカウ、三角形イカキの3通りできます。



④ 図を使って文章題を解く

- (1) **A2** 情報を獲得する

問題文より、ア=7

図1より、のっている人数は、 $8 + 7 = 15$ (人)

もとめる人数イは、のることのできる人数なので、 $32 - 15 = 17$ (人)

- (2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる

(1)より、ア=15

図2より、のっている人数は、 $15 - 3 + 9 = 21$ (人)

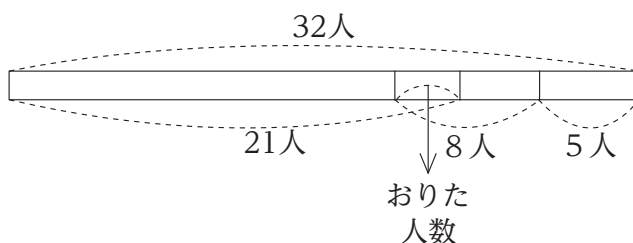
もとめる人数イは、のることのできる人数なので、 $32 - 21 = 11$ (人)

- (3) **B1** 順序立てて筋道をとらえる

図にすると右のようになり、

のっている人数は、 $32 - 5 = 27$ (人)

おりた人数は、 $21 + 8 - 27 = 2$ (人)



【解説】

鈴木三重吉『岡の家』（青空文庫）から出題しました。登場人物の気持ちを想像しながら読みましょう。

問一 A2 知識

二年生までの漢字を問う問題です。とめやはねまで、ていねいに書きましよう。

問二 B1 関係づけ

つなぎことばの問題です。空欄の前後の文がどのような関係になっているか、読みとりましょう。①の前には、「れいのお家がありました」とあります。この「れいのお家」とは、一日の仕事終わりに見るのを楽しみにしていた金色の窓の家であり、やっともらえた休みの日をつかって見に来た家のことです。後に「…そのお家の窓はただのガラス窓で、金などはどこにもはまっていません」とあります。前と後で逆のことが書かれているので、ここには「しかし」があてはまります。

問三 B1 関係づけ

②をふくむ一文に「あてがはずれた」とあります。これは思っていたことと違う結果になる、という意味ですから、自分の期待や希望と違う結果になって気落ちする、という意味の「がっかり」がふさわしいでしょう。イ「かりかり」は、気が立っていらいるるようすを表す言葉ですから、②「直前の「泣き出したくらいに」とあいません。」

問四 B1 推論

——線③に、「はだしのままで、黒っ茶けた木綿の上着を着て」とあります。ここから、女の子のくらしがどのようなくらしかを考えましょう。女の子のおかさんである「おばさん」は「私の家はびんぼうな百姓ですもの」と言っています。

問五 B1 関係づけ

④の直前に、「ちょうど、男の子がいつも見ている光った窓のように」とあります。この「いつも見ている光った窓」は金色です。

問六 B1 関係づけ

——線⑤の直後に、「男の子は：お日さまがいるときに見えるのだと答えました」とあるので、日の入りの時間、つまり夕方です。

問七 B1 関係づけ

「あんなところにもある」とありますが、これは、女の子が男の子に、彼女が「まいにち見て」いる金の窓の家を見せる場面での会話だということをおさえましょう。文章から、場面を想像しながら読んでいく習慣を身につけましよう。

問八 B1 推論

——線⑦「もう一年もだいにポケットにしまっていた」とありますから、これは男の子にとって、だいじなもの、つまり大切なものなのだと考えられます。

問九 B1 理由推論

男の子は「私はもうお家へかえる」と「またこんどくるから」とだけ言い残して、家におおいそぎで帰っていききました。女の子が教えた金の窓の家を見て、とつぜん帰ると言い出し、おおいそぎで走ってかえったから女の子はおどろいたのでしょうか。ア「女の子の家と同じように金色の窓がついている」とありますが、女の子の家の窓はガラスの窓です。イ男の子は女の子が教えてくれた金の窓の家が自分の家だと気づいています。ウ「女の子は、男の子があわててかえってくるのを、びっくりして…」とあります。プレゼントをくれたことよりも、とつぜん帰っていったことにおどろいています。